

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年 6月17日

福岡市長 高島 総一郎 殿

提出者

住所: 福岡市東区箱崎ふ頭6丁目6-32

氏名: (株)グローバルスタンダード 中央工場
代表取締役 佐野村 貴

電話番号 092-643-8230

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	(株)グローバルスタンダード 中央工場		
事業場の所在地	福岡市東区箱崎ふ頭6丁目6-32		
事業の種類	窯業・土石製品製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,100t	全処理委託量	4,100t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4,100t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

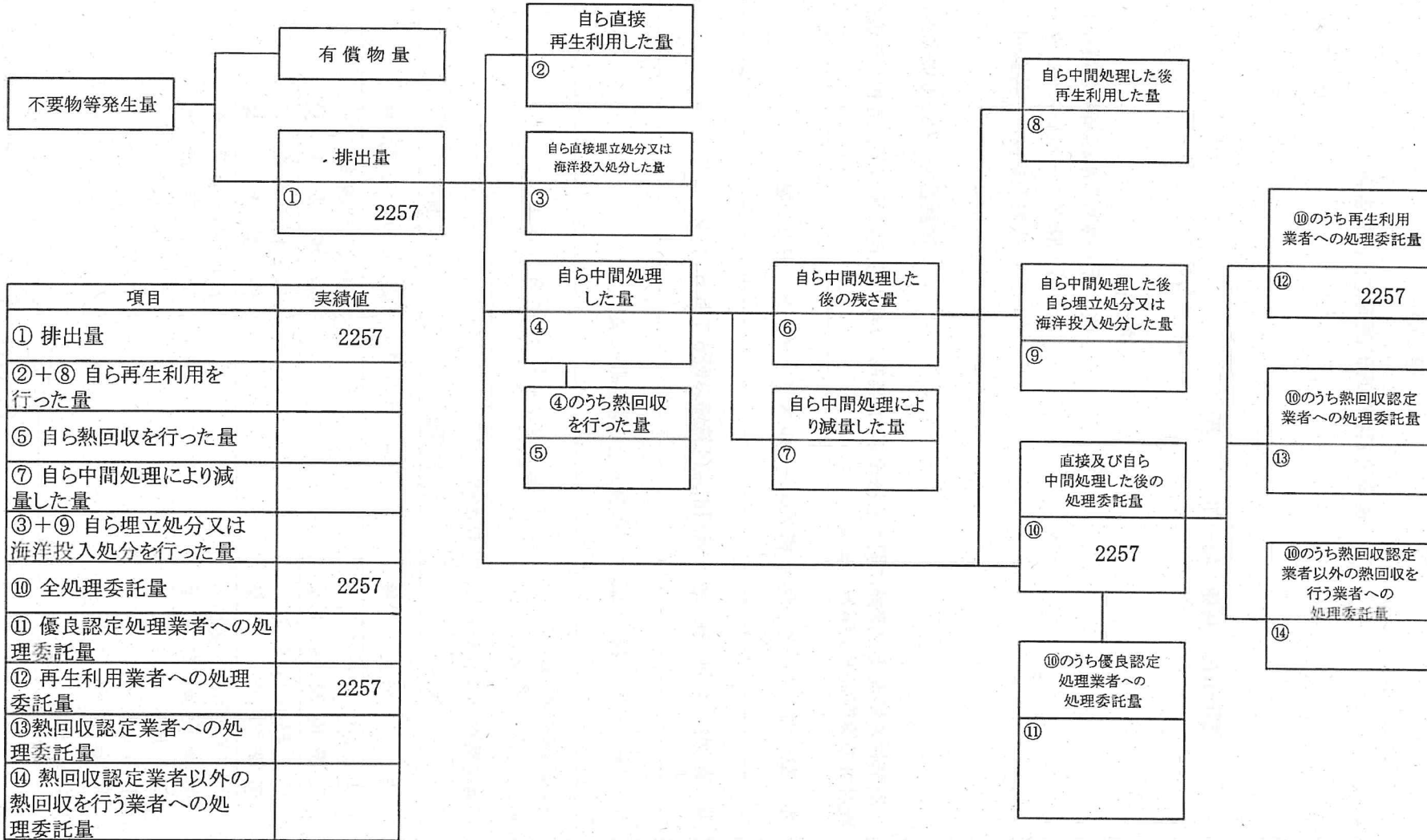


(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶磁器くず)

(単位： t)

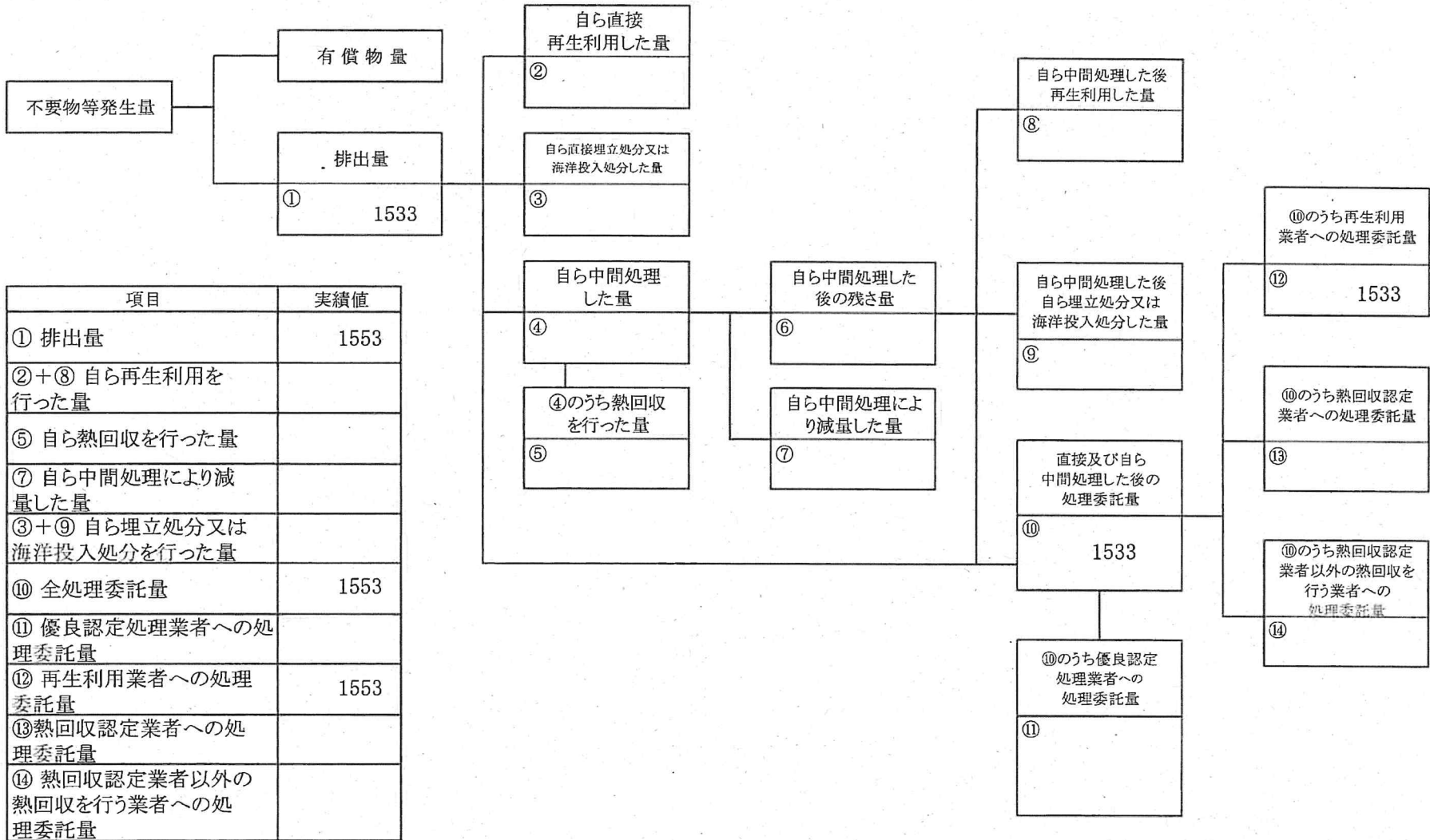


項目	実績値
① 排出量	2257
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	2257
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2257
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)

(単位：t)



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月17日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所：福岡市東区箱崎ふ頭6丁目6-32

氏 名：株式会社 グローバルスタンダード 中央工場

代表取締役 佐野村 貴

電話番号：092-643-8230

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 グローバルスタンダード 中央工場
事業場の所在地	福岡市東区箱崎ふ頭6丁目6-32
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	窯業・土石製品製造業
②事業の規模	7億9千840万
③従業員数	7名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	残コン→残コン処理(分級)→中間処理業者委託→路盤材等に再生

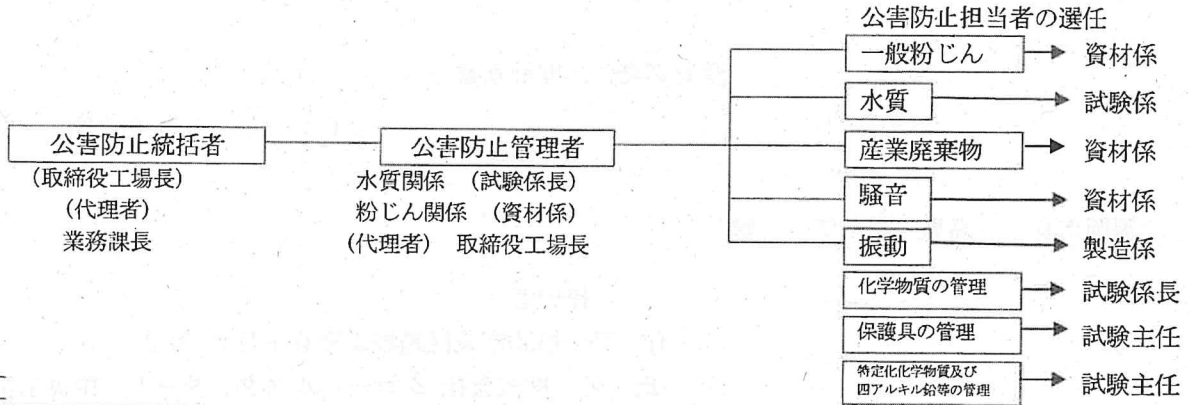


(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制)

産業廃棄物管理及び公害防止対策委員会



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2024年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設汚泥
	排出量	2257 t	1533 t
	(これまでに実施した取組) 納入現場と密に連絡を取り、残コン及び戻りコンの発生を抑制する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設汚泥
	排出量	2000 t	1400 t
	(今後実施する予定の取組) 厳密な打ち合わせで適切な数量の算出 原材料の管理を徹底し、不適合品の発生を防ぐ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	建設汚泥
	全処理委託量	2257 t	1533 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設汚泥
	全処理委託量	2000 t	1400 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2000 t	1400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>自工場で発生する産業廃棄物の減量に徹底し、高炉セメントC種を標準化し有効活用しているのを納入先に提案し、社会的な産業廃棄物の減量にも協力する。</p>		
※事務処理欄			